

JAの総合事業の継続について

Q JAは、農業関連事業や、信用事業・共済事業など、様々な事業を行っています。このJAの総合事業について、どのようにお考えになりますか？



※総合事業の継続は「継続すべき」「どちらかといえば継続すべき」を集計しています。



准組合員の事業の利用制限について

Q 准組合員のJA事業の利用が制限されることについてどうお考えですか？



JAの必要性について

Q JAは地域農業や暮らしにとって必要な存在だと感じられますか？



※JAの必要性については「必要な存在だと感じる」「どちらかといえば必要な存在だと感じる」を集計しています。



JA伊勢は「地域の皆さまとともにいつも一所懸命です」の経営理念のもと、食と農を基軸とした地域に根差した協同組合としてさまざまな取り組みを行っています。今回のアンケートでは、多くの組合員の皆さまから当JAの取り組みや総合事業の継続、准組合員制度の必要性について肯定的な回答をいただくことができました。当JAでは、アンケート結果やいただいたご意見をJA経営や活動に反映し、組合員・地域の皆さまにとって「なくてはならないJA」を目指してまいります。

※全てのグラフは、第1次・2次調査の数値を合算したものをもとに作成

組合員アンケート集計結果を公表します!

約9割以上の方がJAを必要だと回答!

2回に分けて実施いたしました「組合員アンケート」にご協力いただき、誠にありがとうございました。今回の特集では、皆さまに回答いただきましたアンケート結果を公表いたします。

○調査期間
 ・平成30年12月～平成31年3月
 ・令和元年11月～令和元年12月

○調査目的
 自己改革への評価などに関する正・准組合員の意志を的確に把握する正・准組合員の対話強化の契機とし、正・准組合員との一層の関係強化に取り組む

○調査対象者
 無作為に抽選した9,000名
 (正・准組合員 各4,500名)



○調査方法
 個別訪問によるアンケートの配布・回収

○回答数
 正組合員…4,355名 准組合員…4,220名
 合計………8,575名 (回答率95.27%)

自己改革への評価

営農指導事業について



農畜産物販売事業について



生産資材購買事業について



※期待度は「期待している」「やや期待している」、満足度は「満足している」「やや満足している」、改善度は「もともと良い」「改善した」「改善しつつある」を集計しています。